

今期業況天気図

今期業況天気図

期間：令和5年1月～3月（売上・採算・仕入単価・販売単価・資金繰り・従業員・今期業況のDI値は前年同期との比較）

全業種総合の天気図は「小雨」で、総合業況DIは▲28と、前期▲32から4ポイントの上昇。
業種別では、小売業・卸売業が▲27（前期差7ポイント増）と大きく改善し、飲食業・サービス業は▲21（前期差4ポイント増）、製造業は▲33（前期差2ポイント増）は若干改善した。
建設業は▲38（前期差1ポイント減）と、前期とほぼ同じであった。

2月上旬にマスク着用に対する考え方を見直しが政府から発表されたことで、BtoC分野である小売業・卸売業と飲食業・サービス業の改善が進んだものと思われる。

	全業種 総合	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
売上	▲ 10	▲ 16	▲ 19	▲ 8	▲ 4
採算	▲ 29	▲ 37	▲ 36	▲ 26	▲ 22
仕入単価	▲ 69	▲ 85	▲ 82	▲ 75	▲ 53
販売単価	15	20	12	29	9
従業員	24	22	32	13	26
資金繰り	▲ 21	▲ 21	▲ 24	▲ 21	▲ 19
今期業況 （総合判断）	▲ 28	▲ 33	▲ 38	▲ 27	▲ 21
今期業況 天気図					

業況天気図凡例					<<景気観測調査>> 前年度同時期との景況を比較し、「良い／悪い」などの指標を数値化し景気動向を調査。 「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値（DI値）を用いる。
 DI値 31 以上	 DI値 30～11	 DI値 10～▲10	 DI値 ▲11～▲30	 DI値 ▲31 以下	

参考）今期業況天気図の推移

	全産業	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
3四半期前 令和4年4月～ 6月期					
2四半期前 令和4年7月～ 9月期					
1四半期前 令和4年10月～ 12月期					
今期 令和5年1月～ 3月期					

今期業況天気図

今期業況天気図(小規模事業者)

(商業・サービス業従業員5名以下、その他の業種20名以下)

期間: 令和5年1月～3月(売上・採算・仕入単価・販売単価・資金繰り・従業員・今期業況のDI値は前年同期との比較)

小規模事業者のみの全業種総合のDIは▲35(前期差2ポイント増)で天気図は「雨」。製造業は▲35(前期差9ポイント増)と大きく改善した。飲食業・サービス業は▲26(前期差3ポイント増)、小売業・卸売業は▲36ポイント(前期差3ポイント増)と、若干改善した。建設業は▲40(前期差1ポイント減)で前期と同様で回復が遅れている。

	全業種 総合	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
売上	▲18	▲20	▲25	▲11	▲15
採算	▲34	▲43	▲37	▲33	▲26
仕入単価	▲70	86	82	77	▲50
販売単価	13	15	8	27	10
従業員	17	18	29	6	13
資金繰り	▲26	▲26	▲27	▲31	▲23
今期業況(総合判断)	▲35	▲42	▲40	▲36	▲26
今期業況 天気図					

今期業況天気図(小規模事業者以外の中小企業)

期間: 令和5年1月～3月(売上・採算・仕入単価・販売単価・資金繰り・従業員・今期業況のDI値は前年同期との比較)

全業種総合のDI値は▲17と4ポイントの改善で、天気図は「小雨」。建設業は▲13(前期差10ポイント増)と、小売業・卸売業も▲16(前期差11ポイント増)は大幅に改善、前期停滞していた飲食業・サービス業も▲15(前期差5ポイント増)も改善が進んだ。製造業は前期に続いて▲22(前期差4ポイント減)と足踏み状態が続く。

	全業種 総合	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
売上	3	▲11	27	▲2	10
採算	▲22	▲31	▲27	▲18	▲17
仕入単価	▲68	85	87	72	56
販売単価	18	27	47	32	8
従業員	35	26	53	20	43
資金繰り	▲12	▲15	0	▲6	▲14
今期業況(総合判断)	▲17	▲22	▲13	▲16	▲15
今期業況 天気図					

業況天気図凡例					<<景気観測調査>> 前年度同時期との景況を比較し、「良い／悪い」などの指標を数値化し景気動向を調査。 「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値(DI値)を用いる。
 快晴 DI値 31以上	 晴れ DI値 30～11	 薄曇り DI値 10～▲10	 小雨 DI値 ▲11～▲30	 雨 DI値 ▲31以下	

次期見通し業況天気図

次期見通し業況天気図

令和5年1月～3月見込(売上・採算・仕入単価・販売単価・資金繰り・従業員・次期業況DI値は今期との比較)

全産業の次期見通しの天気図は、▲21(今期差7ポイント増)で全業種が「小雨」と、さらに改善が進む見込み。

産業別にみると、建設業は▲26(今期差12ポイント増)が大きく増加するのを始めとして、飲食業・サービス業は▲16(今期差5ポイント増)、小売業・卸売業は▲21(今期差6ポイント増)で、今期に引き続き改善が見込まれる。製造業も▲26(今期差7ポイント増)で、今期の悪化から改善に転じる見込み。

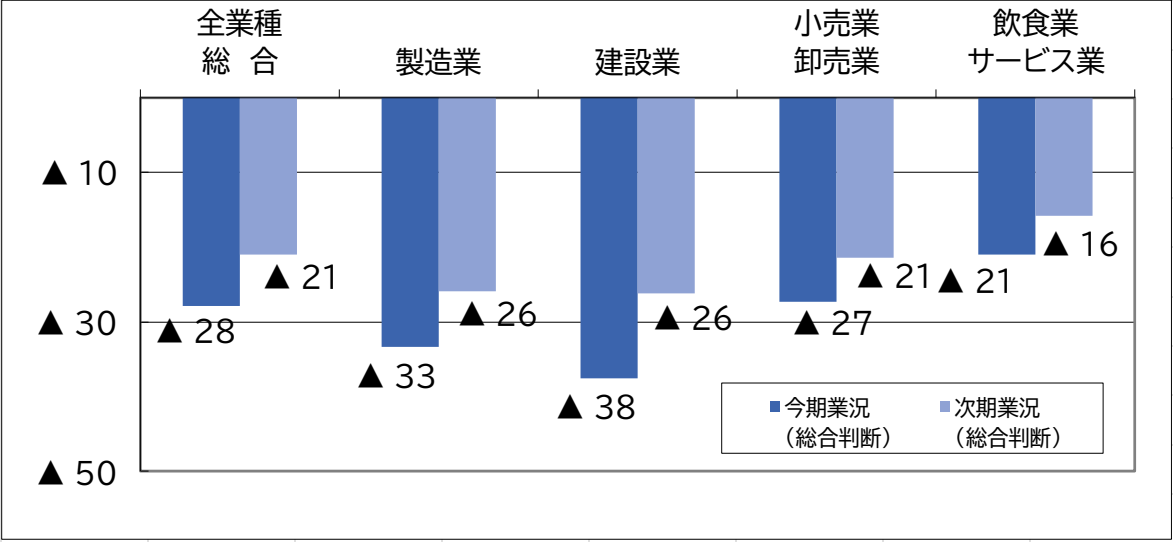
	全業種 総合	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
売上	▲ 6	▲ 7	▲ 10	▲ 14	▲ 2
採算	▲ 21	▲ 27	▲ 23	▲ 26	▲ 16
仕入単価	▲ 56	▲ 65	▲ 70	▲ 58	▲ 45
販売単価	11	17	8	20	5
従業員	22	18	28	13	25
資金繰り	▲ 18	▲ 25	▲ 23	▲ 16	▲ 12
次期業況 (総合判断)	▲ 21	▲ 26	▲ 26	▲ 21	▲ 16
次期業況 天気図					

業況天気図凡例

快晴  DI値 31以上	晴れ  DI値 30～11	薄曇り  DI値 10～▲10	小雨  DI値 ▲11～▲30	雨  DI値 ▲31以下
---	--	--	--	---

<<景気観測調査>>
前年度同時期との景況を比較し、「良い／悪い」などの指標を数値化し景気動向を調査。
「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値(DI値)を用いる。

参考) 今期と次期の業況DI



次期見通し業況天気図

次期見通し業況天気図(小規模事業者)

(商業・サービス業従業員5名以下、その他の業種20名以下)

令和5年1月～3月見込(売上・採算・資金繰り・仕入単価・販売単価・従業員・次期業況DI値は今期との比較)

全産業の次期見通しは▲26(今期差9ポイント増)と、製造業を除いて「小雨」に改善が進む予想である。産業別にみると、建設業は▲28(今期差12ポイント増)、小売業・卸売業は▲27(今期差9ポイント増)、飲食業・サービス業は▲20(今期差6ポイント増)と、改善が進む。回復が遅れている製造業は▲32(今期差4ポイント増)と微増の見込み。

	全業種 総合	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
売上	▲12	▲15	▲13	▲25	▲6
採算	▲24	▲29	▲25	▲30	▲19
仕入単価	▲59	▲69	▲71	▲53	▲46
販売単価	6	11	4	3	4
従業員	15	16	27	6	10
資金繰り	▲23	▲30	▲25	▲20	▲17
次期業況(総合判断)	▲26	▲32	▲28	▲27	▲20
次期業況 天気図					

次期見通し業況天気図(小規模事業者以外の中小企業)

令和5年1月～3月見込(売上・採算・仕入単価・販売単価・資金繰り・従業員・次期業況DI値は今期との比較)

全産業の次期見通しの天気図は、▲13(今期差4ポイント増)で、全業種が「小雨」の予測。産業別にみると、製造業は▲16(今期差6ポイント増)、飲食業・サービス業は▲10(今期差5ポイント増)と改善が進む。建設業は▲13(今期差±0)、小売業・卸売業は▲14(今期差2ポイント増)と若干の改善の見込みである。

	全業種 総合	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
売上	4	6	13	0	3
採算	▲17	▲24	▲7	▲24	▲12
仕入単価	▲52	▲60	▲67	▲62	▲44
販売単価	19	27	40	40	7
従業員	34	23	40	20	42
資金繰り	▲10	▲16	▲13	▲10	▲7
次期業況(総合判断)	▲13	▲16	▲13	▲14	▲10
次期業況 天気図					

業況天気図凡例				
				
DI値 31以上	DI値 30～11	DI値 10～▲10	DI値 ▲11～▲30	DI値 ▲31以下

＜＜景気観測調査＞＞
前年度同時期との景況を比較し、「良い／悪い」などの指標を数値化し景気動向を調査。
「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値(DI値)を用いる。

業況DIの推移

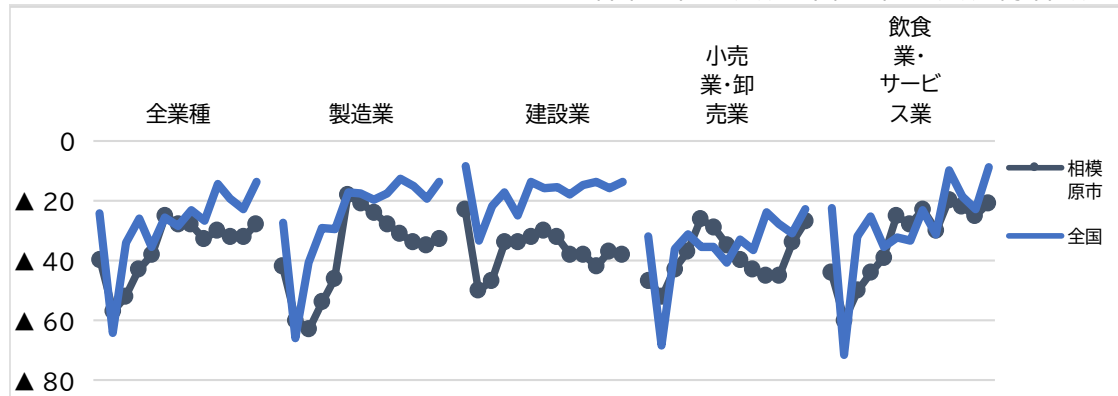
業況DI(前年同期比)の推移

全産業の業況DIは、今期は▲28(前期差4ポイント増)で改善に転じた。

産業別にみると、小売業・卸売業は▲27で改善が続く。製造業は▲33、飲食業・サービス業は▲21で若干の改善に転じる。建設業は▲38と足踏み状態である。

全国と比較すると、製造業と建設業で全国との差が広がったままである。小売業は改善し全国並みである。

(令和2年1-3月期～令和5年1-3月期、前年同期比)

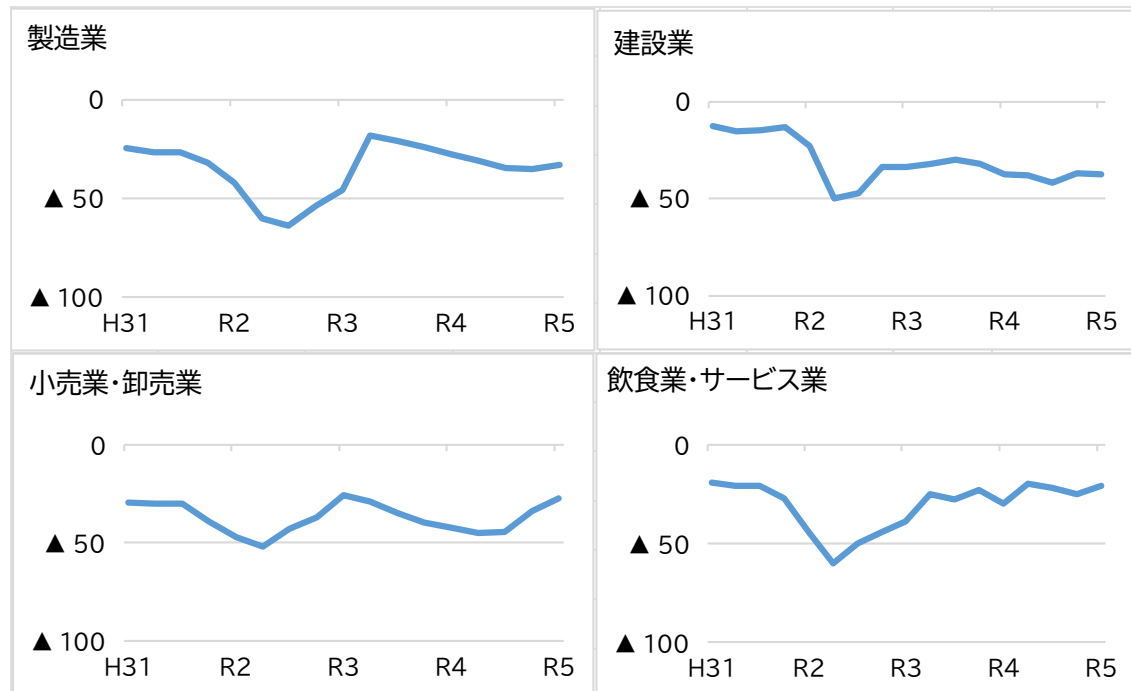


※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「業況判断DI」を使用。

※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用

※業況DIについて、当所では「総合判断」、中小企業庁は「業況(自社)」を質問項目としている

参考)業況DI(前年同期比)の長期推移(業種別)



業況DI(特徴的なトピックス)

産業別に寄せられた特徴的なトピックスは以下のとおりである。

【製造業】

- ・大手企業の元気の無さを強く感じる。【段ボール製函製造販売、包装資材販売】
- ・日本企業は新しい事に臆病で発展性が無いためタイに工場を設立し海外で実績を出し日本に逆輸入する。【ガスアシスト装置、洗浄装置及び脱色、脱脂装置、不純物分離装置】
- ・材料費(塗料・溶剤)の値上げが断続的に続いている。この4月からも値上げ要請している塗料メーカーが数社いる。5%~20%位の幅で2~3回上がっている感じです。【工業製品塗装】
- ・環境配慮製品の受注増。【角型紙管製造販売】

【建設業】

- ・改修工事の安定的受注、公共工事の設計業務の増加、住宅設計からの脱却。【建築設計】
- ・材料の値が上がって、全体的に支出は増えているが、工事金額は上がらない状態が何年もきている。給与を増やすことは難しく感じる。【防水工】
- ・同業他社が忙しいのか、減っているのか、引き合いが増えている感。元請けへの価格転嫁は、比較的しやすいが、エンドユーザーの財布は固めと感じる。【管工事業】
- ・昨年より売上は多少増加しているが、借入金の返済が厳しい。【鉄道関係の電気設備、工場等の屋内配線工事】

【小売業・卸売業】

- ・コロナ等の補助金で凌いでいた外食産業が今期補助金の打ち切りにより経営が困難で閉店する店が増加傾向にある。【食肉卸売】
- ・コロナ、物価高、インボイス、個人事業はほとんど、壊滅的な状況になると思う。【光触媒製品製造、販売】
- ・食品の物価上昇に伴い、お客様の平均購入点数が減少しています。売上は前年比較では同水準ですが、コロナ禍以前と比べるとまだ回復とは言えない状況が続いています。水道光熱費(特に電気料金)の上昇が利益を大きく圧迫しています。【衣料品、住まいの品、食品、各種サービス提供】
- ・高単価の作品が売れている。【美術品の売買】

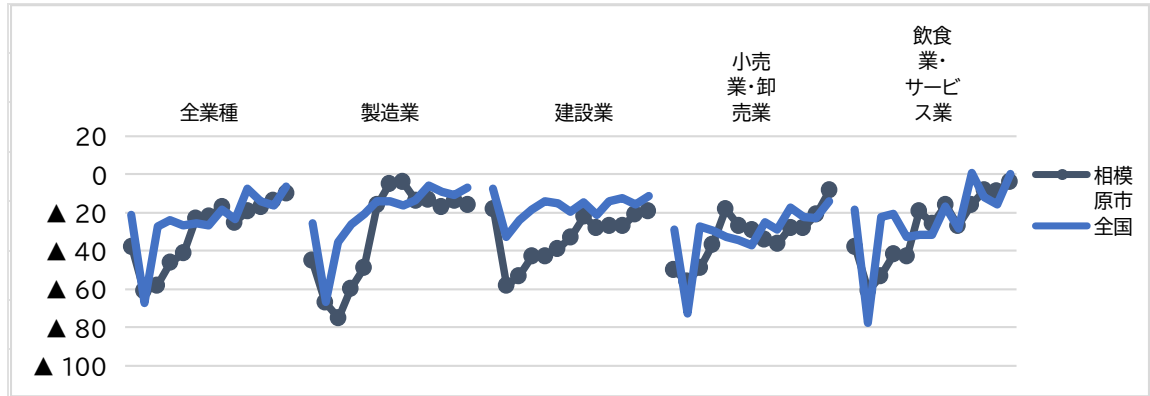
【飲食業・サービス業】

- ・客足は戻ってきた。客単価もそこそこ良い。団体の宴会がまだ戻らないのでコロナ前よりも利益率があがらない。【和食全般の提供】
- ・仕入単価が上昇しても販売単価が上がらない。輸出がとても少ない。精密機械の梱包が少ない。【こん包業】
- ・仕入単価が上昇しており中古車と新車の差がなくなっている。【フォークリフト販売整備】
- ・インフレにより仕入れ価格の高騰、世の中の生活品の全般的な値上げ、増税による経済悪化の懸念をしています。【カーコーティング、カーフィルム、板金塗装】
- ・コロナ禍が明けたかのような報道が多いが、物価高や光熱費高騰により消費が低迷している。個々の企業、個人事業主において資金繰りがうまくいっていない状況。【中小企業経営コンサルティング業、生命保険代理店、損害保険代理店】
- ・金利上昇の懸念で仕入単価の上昇し収益率の低下につながるものの心配有。【不動産取引総合会社】

売上DI(前年同期比)の推移

全産業の売上DIは、▲10(前期差4ポイント増)と、小幅の改善であった。
産業別にみると、小売業・卸売業は▲8、飲食業・サービス業は▲4で、売上DI値はほぼゼロに近づいている。製造業は▲16、建設業は▲19で、足踏みが続く
全国と当市を比較すると、全業種でほぼ同様な売上DIとなり差がなくなっている。

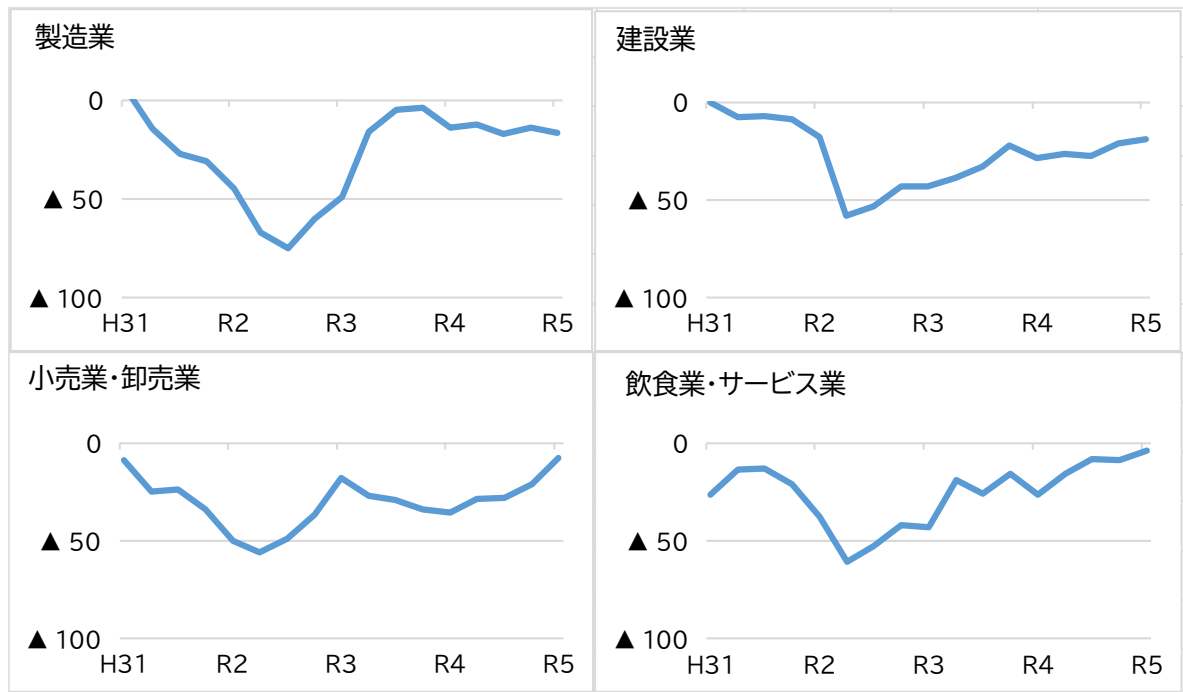
(令和2年1-3月期～令和5年1-3月期、前年同期比)



※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「売上額DI」を使用。

※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用

参考) 売上DI(前年同期比)の長期推移(業種別)



採算DIの推移

採算DI(前年同期比)の推移

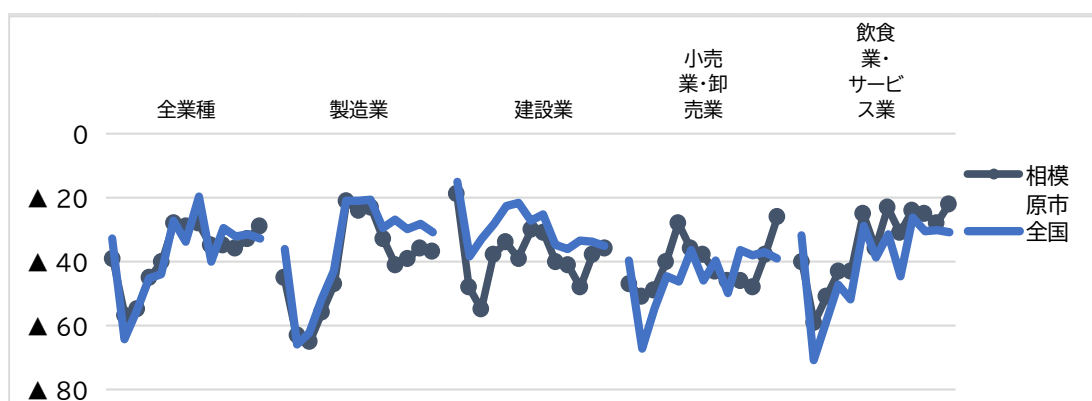
全産業の採算DIは、▲29(前期差4ポイント増)と、若干の改善となった。

産業別にみると、小売業・卸売業は▲26と前期に引き続き大きく改善。飲食業・サービス業も▲22で、改善が進んだ。製造業が▲37、建設業は▲36で停滞している。

売上DIと似た傾向であるが、特に小売業・卸売業については各品目で値上げが進んでおり、売上DIを押し上げているものと思われる。

産業別に今期の数値を全国値と比較すると、小売業・卸売業と飲食業・サービス業では、全国より回復が早い。

(令和2年1-3月期～令和5年1-3月期、前年同期比)

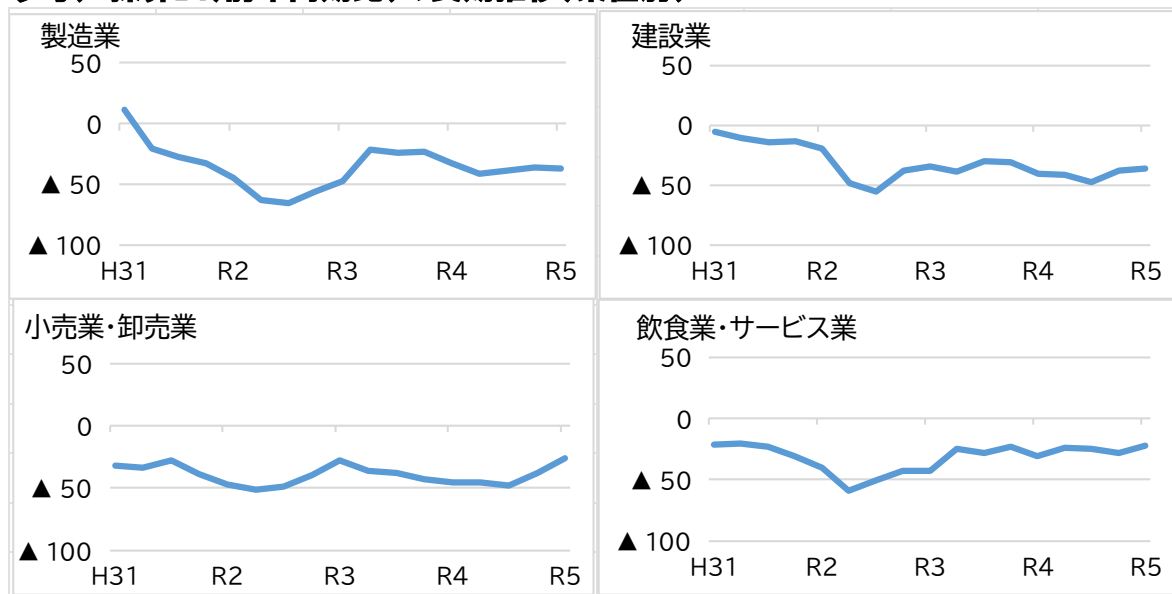


※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用

※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用

※採算DIについて、当所では「採算」、中小企業庁は「経常利益」を質問項目としている

参考) 採算DI(前年同期比)の長期推移(業種別)



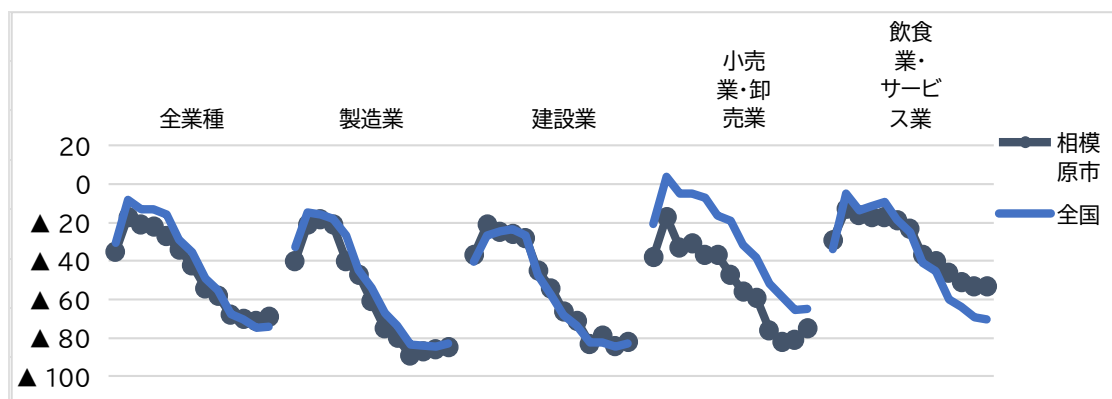
仕入単価DIの推移

仕入単価DI(前年同期比)の推移

全産業の仕入単価DIは▲69(前期差2ポイント増)で、ほぼ変動がなかった。

産業別にみると、製造業が▲85、建設業は▲82、小売業・卸売業が▲75、飲食業・サービス業が▲53と、各業種ともほぼ前期並みであった。仕入れ単価の改善はまだ時間がかかりそうである。全国との比較においては、飲食業・サービス業においては全国よりやや高く、それ以外の業種ではほぼ全国と同様な傾向となっている。

(令和2年1-3月期～令和5年1-3月期、前年同期比)



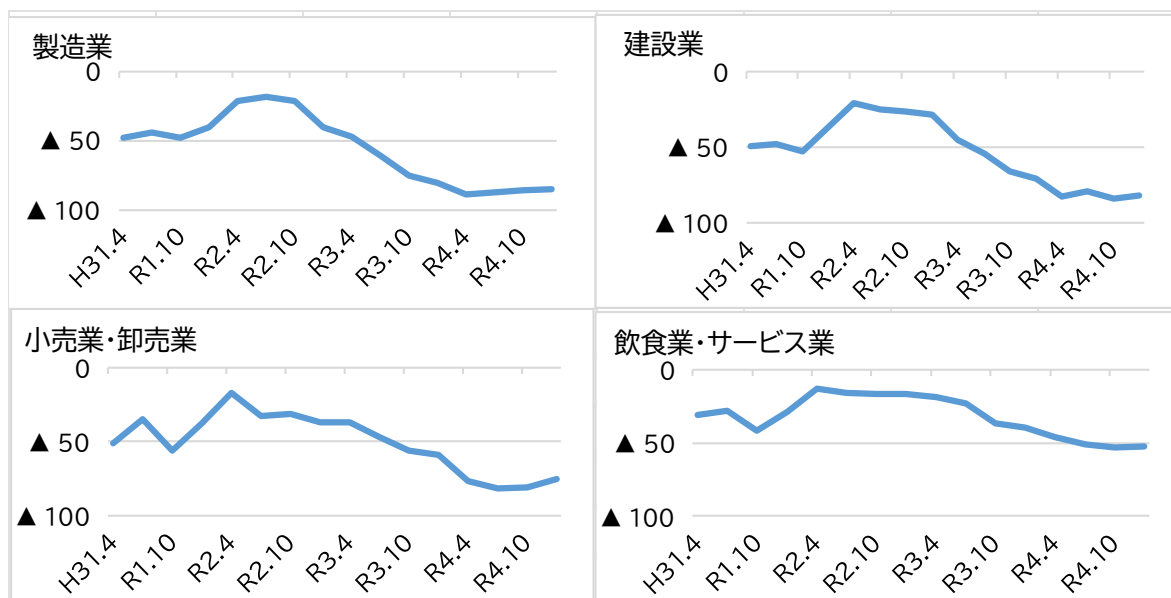
※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「原材料・商品仕入単価DI」を使用。

※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用

※仕入単価DIについて、当所では「DI=下落—上昇、中小企業庁は「上昇—低下」で算出。

比較にあたっては、全国値の符号を反転させている。

参考) 仕入単価DI(前年同期比)の長期推移(業種別)

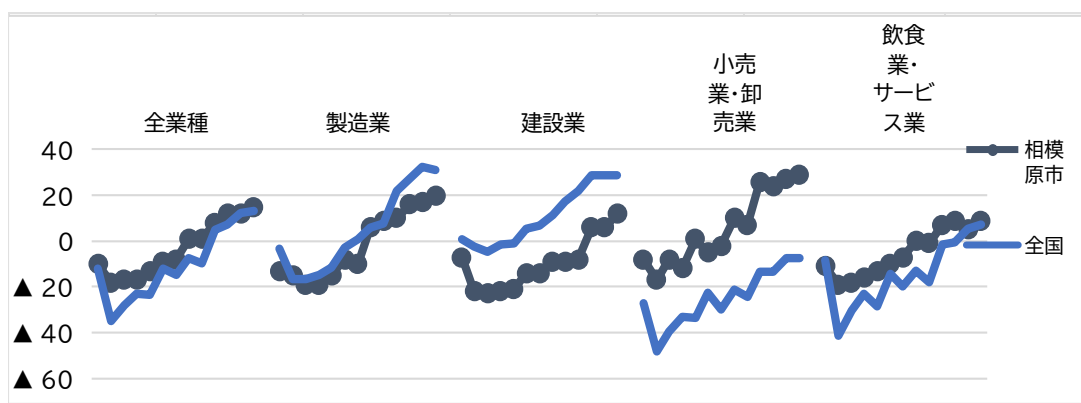


販売単価DIの推移

販売単価DI(前年同期比)の推移

全産業の販売単価DIは、15(前期差3ポイントの改善)で、上昇傾向が続いている。
産業別にみると、製造業は20、建設業は12、小売業・卸売業が29、飲食業・サービス業が9となっており、全業種で小幅の増加が続いている。
全国値と比較すると、製造業と建設業は全国よりも低い水準が続き、小売業・卸売業は全国より大幅に販売単価DIが高い状況が続く。

(令和2年1-3月期～令和5年1-3月期、前年同期比)

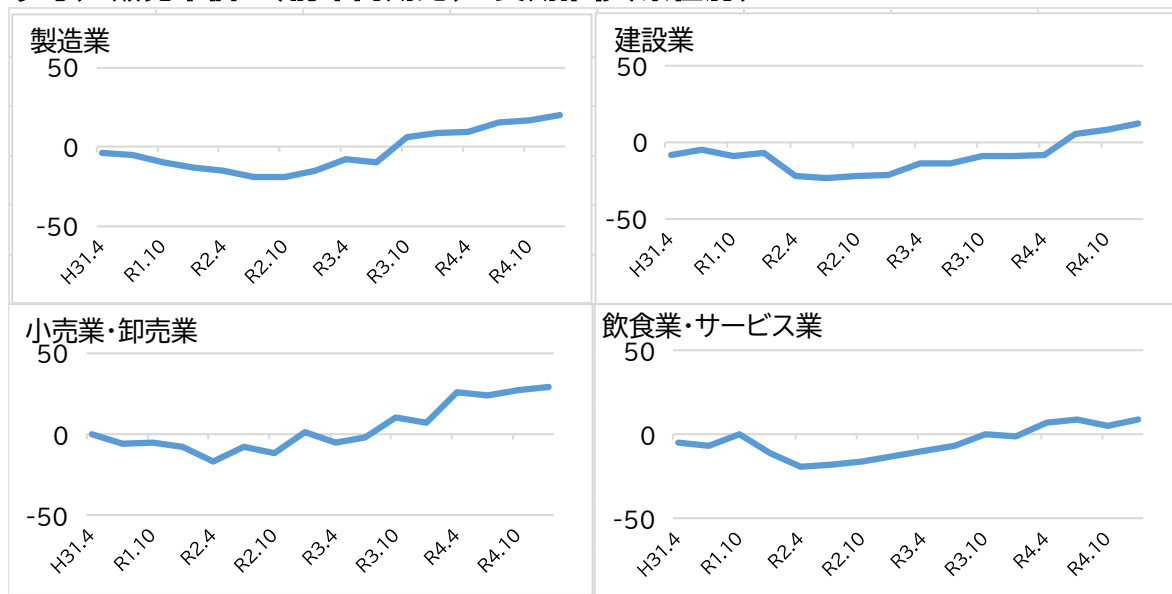


※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「販売単価・客単価DI」を使用。

※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用

※建設業については、全国値は日本商工会議所「早期景気観測商工会議所LOBO/建設業令和4年6月」分類の値を使用

参考) 販売単価DI(前年同期比)の長期推移(業種別)



従業員DIの推移

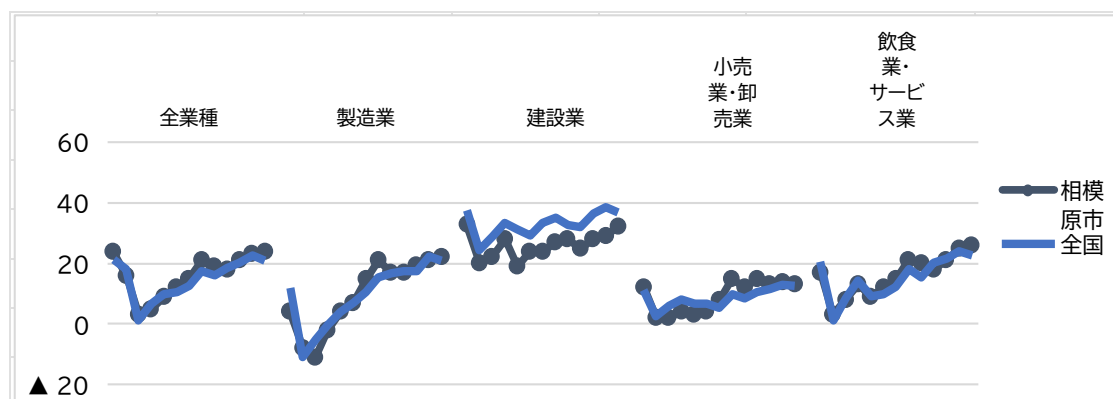
従業員DI(前年同期比)の推移

全産業の従業員DIは、24(前期差1ポイント増)で、前期並みであった。

産業別では、製造業が22、建設業は32、小売業・卸売業が13、飲食業・サービス業は26であった。小売業を除いて、かなりの人不足の状況が続いている。

産業別に今期の数値を全国値と比較すると、いずれの業種も全国と同様なDI値の傾向となっている。

(令和2年1-3月期～令和5年1-3月期、前年同期比)



※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「従業員数過不足DI」を使用。

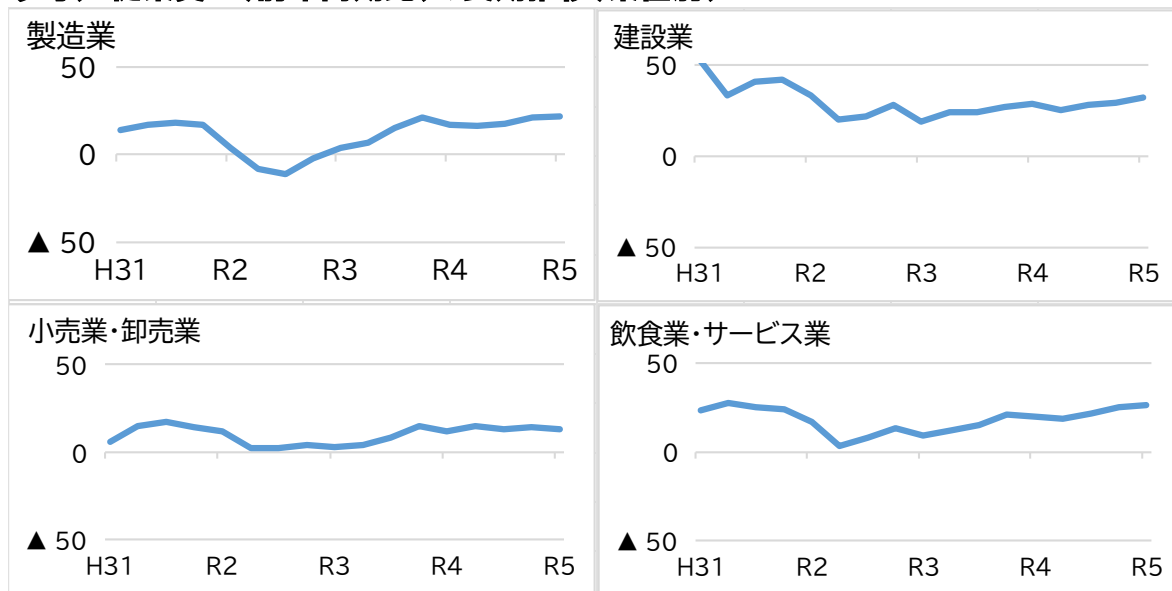
※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用

※従業員DIについて、当所では「前年同期比」、中小企業庁は「今期の水準(過去との比較ではない)」を調査

※従業員DIについて、当所では「DI=不足ー過剰、中小企業庁は「過剰ー不足」で算出。

比較にあたっては、全国値の符号を反転させている。

参考) 従業員DI(前年同期比)の長期推移(業種別)



資金繰りDIの推移

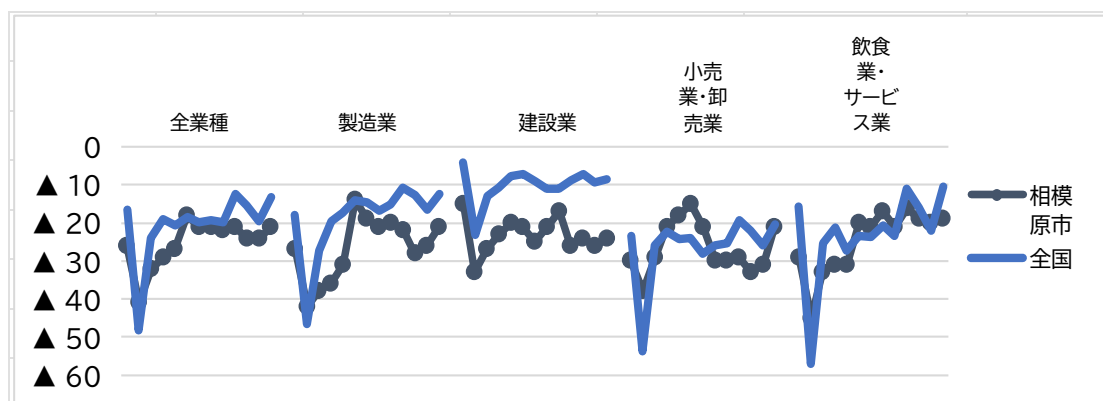
資金繰りDI(前年同期比)の推移

全産業の資金繰りDIは、▲21(前期差3ポイント増)と若干の改善。

産業別にみると、製造業は▲21、建設業は▲24、小売業・卸売業が▲21、飲食業・サービス業は▲19であった。これまで落ち込んでいた小売業の資金繰りが大幅に改善したようである。

産業別に当市の今期の数値を全国値と比較すると、建設業において全国より悪い状況が続いているが、それ以外の業種ではおおむね全国と同様な状況となっている。

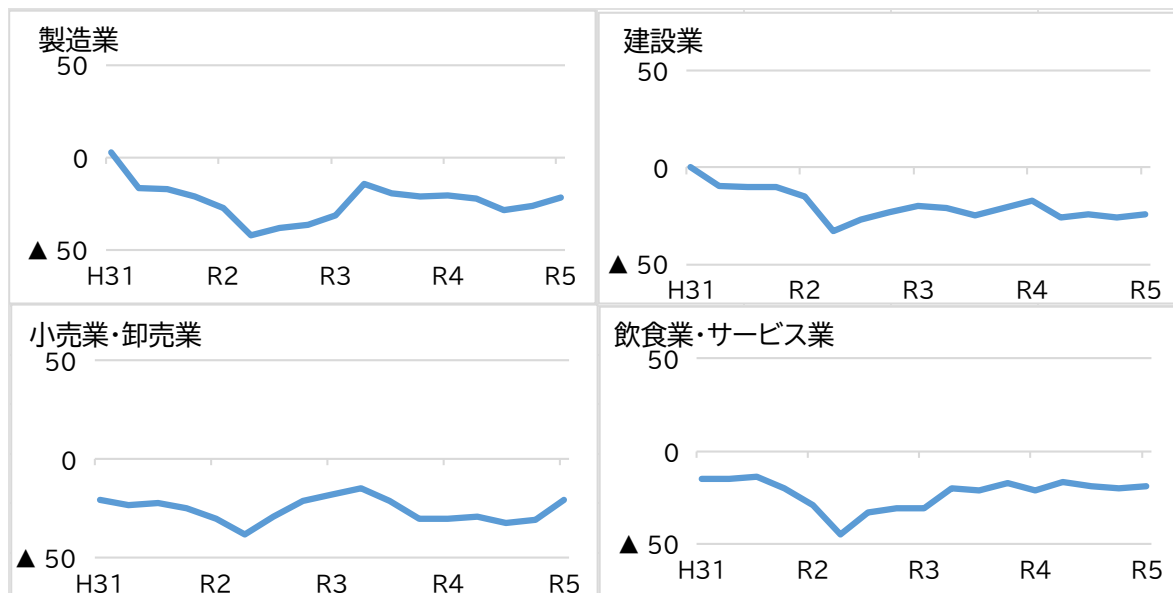
(令和2年1-3月期～令和5年1-3月期、前年同期比)



※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用

※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用

参考) 資金繰りDI(前年同期比)の長期推移(業種別)



集計表(トピックス)

			今期(R5.1~R5.3)				次期見通し(R5.4~R5.6)			
			売上:増加 採算:資金、総 合:好転 仕入:下落 販売:上昇 従業員:不足	不变	売上:減少 採算:資金、総 合:悪化 仕入:上昇 販売:下落 従業員:過剰	合計/DI値	売上:増加 採算:資金、総 合:好転 仕入:下落 販売:上昇 従業員:不足	不变	売上:減少 採算:資金、総 合:悪化 仕入:上昇 販売:下落 従業員:過剰	合計/DI値
製造業	売上	サンプル数	59	85	99	243	57	111	75	243
		構成比	24	35	41	▲ 16	23	46	31	▲ 7
	採算	サンプル数	33	87	123	243	32	114	97	243
		構成比	14	36	51	▲ 37	13	47	40	▲ 27
	仕入単価	サンプル数	2	32	209	243	2	80	161	243
		構成比	1	13	86	▲ 85	1	33	66	▲ 65
	販売単価	サンプル数	72	147	24	243	66	153	24	243
		構成比	30	60	10	20	27	63	10	17
	従業員	サンプル数	62	172	9	243	55	177	11	243
		構成比	26	71	4	22	23	73	5	18
	資金繰り	サンプル数	19	153	71	243	9	164	70	243
		構成比	8	63	29	▲ 21	4	67	29	▲ 25
	業況	サンプル数	24	114	105	243	22	136	85	243
		構成比	10	47	43	▲ 33	9	56	35	▲ 26
建設業	売上	サンプル数	29	56	56	141	31	65	45	141
		構成比	21	40	40	▲ 19	22	46	32	▲ 10
	採算	サンプル数	11	68	62	141	15	78	48	141
		構成比	8	48	44	▲ 36	11	55	34	▲ 23
	仕入単価	サンプル数	1	23	117	141	0	42	99	141
		構成比	1	16	83	▲ 82	0	30	70	▲ 70
	販売単価	サンプル数	37	84	20	141	29	94	18	141
		構成比	26	60	14	12	21	67	13	8
	従業員	サンプル数	48	90	3	141	42	97	2	141
		構成比	34	64	2	32	30	69	1	28
	資金繰り	サンプル数	4	99	38	141	4	100	37	141
		構成比	3	70	27	▲ 24	3	71	26	▲ 23
	業況	サンプル数	7	74	60	141	12	80	49	141
		構成比	5	52	43	▲ 33	9	57	35	▲ 26
小売業・卸売業	売上	サンプル数	36	36	45	117	29	43	45	117
		構成比	31	31	38	▲ 8	25	37	38	▲ 14
	採算	サンプル数	17	52	48	117	15	56	46	117
		構成比	15	44	41	▲ 26	13	48	39	▲ 26
	仕入単価	サンプル数	4	21	92	117	4	41	72	117
		構成比	3	18	79	▲ 75	3	35	62	▲ 58
	販売単価	サンプル数	52	47	18	117	40	60	17	117
		構成比	44	40	15	29	34	51	15	20
	従業員	サンプル数	20	92	5	117	20	92	5	117
		構成比	17	79	4	13	17	79	4	13
	資金繰り	サンプル数	7	79	31	117	8	82	27	117
		構成比	6	68	26	▲ 21	7	70	23	▲ 16
	業況	サンプル数	15	55	47	117	13	66	38	117
		構成比	13	47	40	▲ 27	11	56	32	▲ 21
飲食業・サービス業	売上	サンプル数	113	144	129	386	97	185	104	386
		構成比	29	37	33	▲ 4	25	48	27	▲ 2
	採算	サンプル数	51	198	137	386	50	225	111	386
		構成比	13	51	35	▲ 22	13	58	29	▲ 16
	仕入単価	サンプル数	4	175	207	386	4	203	179	386
		構成比	1	45	54	▲ 53	1	53	46	▲ 45
	販売単価	サンプル数	64	292	30	386	60	287	39	386
		構成比	17	76	8	9	16	74	10	5
	従業員	サンプル数	105	277	4	386	102	277	7	386
		構成比	27	72	1	26	26	72	2	25
	資金繰り	サンプル数	15	283	88	386	23	292	71	386
		構成比	4	73	23	▲ 19	6	76	18	▲ 12
	業況	サンプル数	46	213	127	386	47	231	108	386
		構成比	12	55	33	▲ 21	12	60	28	▲ 16
全業種総合	売上	サンプル数	237	321	329	887	214	404	269	887
		構成比	27	36	37	▲ 10	24	46	30	▲ 6
	採算	サンプル数	112	405	370	887	112	473	302	887
		構成比	13	46	42	▲ 29	13	53	34	▲ 21
	仕入単価	サンプル数	11	251	625	887	10	366	511	887
		構成比	1	28	70	▲ 69	1	41	58	▲ 56
	販売単価	サンプル数	225	570	92	887	195	594	98	887
		構成比	25	64	10	15	22	67	11	11
	従業員	サンプル数	235	631	21	887	219	643	25	887
		構成比	26	71	2	24	25	72	3	22
	資金繰り	サンプル数	45	614	228	887	44	638	205	887
		構成比	5	69	26	▲ 21	5	72	23	▲ 18
	業況	サンプル数	92	456	339	887	94	513	280	887
		構成比	10	51	38	▲ 28	11	58	32	▲ 21

製造業
「電気料金の高騰による光熱費」。 【食品機械、搬送コンベア、パレタイザー】
11月頃より一層深まる不景気感、色々な仕事の先送りなど。 【発泡スチロール加工】
4月から残業代。 【制御盤の製作、ケーブル加工】
アメリカの中国輸出規制により当面の間、大幅な受注減少の見込み。 【ラジエーター、真空配管】
あらゆる物の単価上昇、弊社はそれを単価に上乘出来ない。 【金属加工】
インフラ系の会社が顧客なので、コロナの影響を感じる。 【雷対策機器】
インフレと賃金上昇がその内経営を圧迫する。金利の上昇は歓迎できない。 【段ボール箱及び一般紙器製造業】
エネルギー、原材料高騰。 【紙パルプ】
エネルギー価格の高騰、ロシアウクライナの戦争からの波及。 【建設機械部品、製造】
コロナ・円安の影響が長く響いている。大手企業が賃上げの話を聞くが、過去の実績から、零細から利益を確保する手法での賃上げかと考えると先行きが心配。 【金属部品加工（製缶溶接・機械加工）】
サプライヤ（部品製造）主力受注先からの値下げ圧力が強いし公取も余り相手にしてくれない。まだ不況はつづくと思われる。 【精密部品加工業】
ロシア、ウクライナ戦争による原材料の高騰・為替の円安による物価高騰や人口減少によるマーケットのシュリンク、コロナによる食の業務筋の過大シュリンク等マイナス要因が過大となり企業倒産も増大し続ける傾向である。 【水産総菜類の加工、販売】
一つの機械が修理出来なくなる事。（修理屋が廃業するため）。 【治具、金型の部品加工】
印刷需要の低迷。 【オフセット印刷及び付随する業務】
円安、103万、130万の幅の引き上げを待つ。 【ジャズポップコーン、ポップコーン原料豆】
円安、賃上げ、諸物価の値上りなど、コスト負担が増加傾向にあり、販売価格への転嫁、それに見合う収益が伸びるか問題。 【空圧制御バルブの製造および販売】
横這いから低下のきざし。 【金属挽物加工】
下請け企業として大企業から仕事受注している。我々としては、大手の要求、単価に答える必要性があり、年々コストダウンを要請される側としては、利益の出ない体質になりつつある。設備を必要とする仕事にもかかわらず、償却が追いつかないほどのコスト要請があり、合わせて、国からの要求の従業員待遇の改善等を考えると、働く日数を減らして、給料上げ続けると言うことに関しては、いずれ破綻すると考える。人材の流動性を上げるために、従業員保護をし続けるのも限界があるのではないかと考える。 【精密部品製造業、半導体、産業ロボット、検査装置、宇宙航空に関する部品製造】
環境配慮製品の受注増。 【角型紙管製造販売】
機械作る際必要な物が入荷未定となっている為、仕事が入ってこない。 【製造業】
客先の購買判断が遅い（予算の不足など）。 【金属製品】
客先の不安定化＝減少。 【バルトコンベヤ】
客先設備投資計画の減少。 【ダイカストの良品支援システム】
景気の動向、為替の動向、原材料の高騰。 【キャンピングカーの製造販売】
経済活性化が不透明に感じ、新たな開発品が減少している。 【光学ガラス加工業（受託）】
原材料の安定供給の動向。 【電池部品】
原材料価格上昇、他諸経費上昇。 【工業化学、化粧品、不織布他】
原材料及び仕入単価、エネルギー関係の価格上昇。 【貴金属精製販売業】
原材料費の高騰では、お客様の材料費の見直しは快く受け入れてっていますが原油価格で電気代、切削油なども上がっている為、加工費にくい込んでいます。 【金属加工業】
光熱費、材料費の高騰、受注減。 【工業塗装】
今期弊社は好不況の変化はあまり感じませんが、取引先は設備投資の見送り等業績は好転していない様感じます。弊社も来期の見通しが不透明であり、若干不安があります。 【レーザ溶接コンサルタント、レーザ溶接機及び付帯設備販売】
材料や電気・ガスなど原価の高騰。 【機械部品加工】

材料がなかなか入荷しないので受注があっても生産ができず、売り上げが上がらず資金繰りが悪い、同業者が廃業しているので注文は増えています。材料を手配しても6ヶ月以上経っても入らないものが多くて製造できない。【電源トランス、各種コイル、スイッチングトランス、アウトプットトランス、インバータートランス】
材料の入手困難と価格上昇の中、得意先の要望へ迅速に対応しているため、今期は利益増の予定である。ただし、材料仕入れ価格の上昇に売上価格が追従できないことが原因で引き合いのある商品を直ぐに受注できない可能性もある。材料の先行発注により材料在庫過剰になる可能性もあり要注意の年と考えている。【高周波トランス、電源トランスなどの小型トランスの製造業】
今年のスタートは販売店含めあまり、良いスタートとは言えないとみています。【通信機機器設計生産販売、音響機器設計生産販売】
材料費(塗料・溶剤)の値上げが断続的に続いている。この4月からも値上げ要請している塗料メーカーが数社いる。5%~20%位の幅で2~3回上がっている感じです。【工業製品塗装】
材料費が再度高騰、短納期。【シャフト、ベアリングケース、フランジ、ブラケット】
材料費の上昇だけでなく、エネルギー、薬品等、全ての価格上昇がいつまで続くのか、読めない事。【金属エッチング・アルマイト銘板、シール・シルク印刷製品】
昨年の1~3月は取引先の新システム導入により売上・利益ともに悪化していたので、今年度の前年比は高い。4月以降は前年並みの予測だが収益は下がると思われる。景気悪化の観測もあるが、化粧品などを中心に受注が増えていてあまり景況感の悪さは感じない。【各種製品の加工、検査及び包装】
仕事が少ない。【金属部品の切削加工、作業工具の製造】
仕事が少ない。【金属部品の切削加工】
仕事の量が少ないため売り上げが上がらない、それ故利益の減少になりやすいと思う。【コピー機の試作部品、カメラの試作部品、エアコンの試作部品】
仕事量が日増しに減っていて、会社の存続が難しくなっています。【配管、c/v製作、工場総合設備】
仕事量の激減。【精密試作板金】
仕入れ単価の高騰。【精密部品加工】
仕入れ単価の上昇で販売価格を値上げせざるを得ない状況。コロナ禍の影響は減少しつつあり海外営業、国内営業を積極的に再開できている。【高速モータの製造販売】
仕入価格の高騰、及び部材リードタイムの長期化。半導体不足。【産業用自動機の開発・製造・販売】
仕入単価が大幅に上昇しているが、販売単価に転嫁できず収益率に影響している。【金属製品製造業(アルミ手摺、門扉など)】
仕入単価の上昇。【プレス機械の製造・販売・修理】
仕入単価の上昇と人手不足。【金属製品塗装】
市場が動いていない。【金属加工】
市場のモノ不足はピークより落ち着きを取り戻す感はあるが、完全な回復にはまだまだ遠い。【省力装置・治具などの設計製作】
市場の好況、民間の放送局事業の設備投資がここ数年大幅に減少している。コロナ禍での働き方改革などにもある。【放送設備機器設計・製造】
若年層の求人応募者がいない。【ワイヤーハーネス加工】
受注は増加傾向だが、原材料をはじめとするコスト増が続いているにもかかわらず、それを売上価格に転嫁できていない(親企業に価格改定を認めてもらえない)。【ショットブラストおよび下塗り塗装】
受注は多くあるが作業員不足でこなせない状態です。募集しているが小さな会社なのでなかなか来てくれる人がいません。部材の仕入価格は上がりましたが以前より入手できるようになりました。【制御盤製作、電機工事】
受注状況の不透明感。1ヶ月先はおろか、1週間先もハッキリしない状況。キャンセルではないが、納期延長、納期保留が増えた。【工業製品塗装】

受注数は多くても販売価格が安く利益がでない。【プラスチック材料の試作品・加工】
受発注の状況。【印刷】
受発注の低下と単価の低下。【製造業】
受発注減少。【製造業】
諸経費の増加。【自動車、他の部品加工】
国内は物価が上がっているが、弊社の製品は販売価格の上昇は出来ない。むしろ下げろと言われる事もある。【組紐、及びヘアゴムの製造、販売】
食品全般に大幅な値上げ、最低賃金の上昇など原価が上がるばかりでとどまるところを知らない。扶養控除の枠内で働こうとする女性が多く結局生活が苦しいままで消費を控えている。【弁当、惣菜】
新たな仕事を依頼されても人員、設備、工場内の空スペースの問題で受注できない状況にある。長いコロナの状況で借入金が増加し銀行も協力はしてくれるが与信の関係で大きな投資をする余力がない。【金属加工】
新型コロナウイルス禍による諸々の影響により印章業界の先行きが憂慮されます。【印章彫刻機および製造システム構築】
人材不足が問題です。特にソフト設計者、電子回路設計者が獲得できない。【インサーキットテスト、インサーキットテストフィクスチャ、ファンクションテスト】
人手不足。【土木工事に使用する薬剤注入装置等の設計製造及び販売】
水道光熱費の上昇が著しい。【臨床検査薬の開発・製造・販売】
正規従業員を募集しても、集まらない。【紙製容器の製造販売及び輸入食品機械】
製造現場オペレーター不足、募集しても来ない。【プラダンケース製造、プラスチックケース製造】
設備投資計画があり、費用捻出を考えています。【断熱カバーの製作(ファインジャケット)】
前年同期比で横ばい状況が続き、上昇傾向に至らず、景気回復を期待する。【キッチン、洗面台等の人工大理石による家具装備品製造業】
全般的にコスト高。【食品】
相変わらず電子部品の入荷が遅く、製造販売事業に関する売上が著しく落ちている。【電子回路設計製造販売】
足止めされているような不景気感。【発泡スチロール加工業】
大きな金額のお仕事は頂けましたが、スパンが長いので仕入れ代は払うが、売上になるまで時間がかかります。【精密機械の製造】
大手企業の元気の無さを強く感じる。【段ボール製函製造販売、包装資材販売】
値上を行うも、仕入れ価格の上昇、人件費及び電気代、包装資材費等の値上がりが逐次上昇しており、損益が悪化。【ハム、ソーセージの製造販売】
値上交渉が意外と厳しい。10%希望が5%にされてしまう。【工業用銘板】
中国景気後退による影響大。【パッシブ除振台・アクティブ除振台・防振装置・各種防振ゴム・制振材・吸音材・除振工事・防振工事・制振工事・除振コンサルタント・振動測定及び解析】
電気代の高騰。【プラスチック加工】
電気代の高騰、材料代の高騰。【機械部品の精密加工】
電気代の値上げが経費的に大きい。【製造業】
電気代の負担大。【金属製品製造】
電気代上昇、自動車産業低迷。【切削工具製造及び再研磨】
電気部品、インバータ、サーボ等の入手が長期間(約1年)になり問題。コロナにより経済の悪化が問題。【プラスチック押出成機械の製造販売、修理】
電気部品(PLC、インバーター等)の納期が1年以上かかり受注の妨げになっている。早急に改善してほしい。【超音波洗浄装置】
電気料金の高騰。【金属表面処理業】
電気料金をはじめとする諸経費の増加分を販売価格へ転嫁できない。新規学卒はじめ人員の採用が更に困難になる。【自動車・建機部品製造】
電力、副資材等のコストUP。仕入鋼材UP分を販売単価が追いついていない。【金属加工業】

電子部品の調達難により、業務効率が低下することが発生。またそれに関連する売上遅延も問題である。【電子応用装置 設計・製造】
電力料金の上昇及び従業員待遇検討による収益率の悪化、及び客先への価格転嫁交渉の難航と諸経費上昇。【上水道継手自動車部品】
電力料金含めた物価上昇。【電力機器、配電機器、免震・制振・制音デバイス】
当社は勿論ダメですが、取引(依頼)会社も全て閑古鳥が鳴いている。【真空・宇宙・化学機器】
日本企業は新しい事に臆病で発展性が無いためタイに工場を設立し海外で実績を出し日本に逆輸入する。【ガスアシスト装置、ウルトラファインバブル洗浄装置及びオゾン水脱色装置、アルカリ水脱脂装置、不純物分離装置】
納め先のメーカーが未だに部品入手困難の為、販売が出来ていない。その影響は下請け受注業者に痛手である。【精密板金加工】
発注側(取引先)の仕事量の調整。【一般産業用機械部品の製造・設計組立】
半導体影響の予想以上の長期化、ロシア、ウクライナ問題の収束時期の不透明化。【産業用エンジン、発電用エンジン、発電セット、ターボチャージャ】
半導体業界の影響が大きく、昨秋から売上減(受注減)に加え、材料費、光熱費の高騰の影響が大きくなっている。【精密板金業】
半導体市場の混乱が続き、材料調達の難しさが継続している。【産業用モータ制御装置の製造・販売】
半導体不足等の影響により受注減、水道光熱費(電気)の大幅増加により利益大幅減少。【粘着製品の加工・販売】
不況感が強く利益向上、売上の増大が期待出来なく経営が非常に厳しい状態が続くと思われる。国として景気向上策を希望する所です。【合成樹脂切削加工業】
部品の調達遅れと単価アップ。【電鉄変電所用計測装置の設計・製造・販売】
部品を注文したいが納期の回答がもらえない(いつ入荷するかわからない)。【産業用 NC 装置】
部品入手が困難になってきた。【UVLED 照射器、マイクロスコープ】
部品納期が長期化して製品の出荷計画が立てられない、仕入価格が高騰して収益に影響が出ている。募集しても応募が少なく充足しない。【インサーキットテスト、インサーキットテストフィクスチャ、ファンクションテスト】
部品不足により在庫の確保に苦戦を強いられている状況です。【FA用途向け通信機器の開発・製造】
物の値上げが続き、賃上げ、賃上げと言われているが、利益が上がってこないのが厳しい状況だと思う。【金型プレス加工】
物価が上昇していることの影響が大きい。特に電気代、油の単価が上昇しており、利益が少なくなっている。【金属加工業、トラック、建機部品加工】
令和5年が最も不況感を感じる。【機械加工全般】
例年の年度末の忙しさが無いです。【単品・小ロットの加工部品、治工具・試作・精密部品】

建設業
改修工事の安定的受注、・公共工事の設計業務の増加、・住宅設計からの脱却。【建築設計】
インフレによる仕入単価の上昇と建設業の高齢化と若手の人材不足。【建設業】
コロナで不景気感がたゞよい、消費購買が底化(民間、公共)し、発注工事が少なく、金額もやや低い。設備投資的ではなく、壊れてから発注と言うような、先行の不透明感が強い。【管工事業】
メーカーサプライヤーの部材調達・供給が新型コロナウイルスの影響などにより滞っており、当社取扱製品のメーカー製造供給体制が依然悪く、工事を受注できない。【ポンプ、送風機、冷却塔の点検、修理、オーバーホール、取替】
客からの問い合わせがない。【建設業】
契約単価変わらず。材料費上昇。【防水工事】
原価、エネルギー価格の高騰に販売価格が追いついていない。【リフォーム外壁塗装】
原価高騰。【総合建設】

原材料価格の上昇分を受注単価に反映して貰えないので収益性が悪くなっている。【外構工事業】
顧客の業績不振により益々受注減になる可能性ある。又材料仕入単価高騰により収益率も減少。【移動体基地局工事、保守】
公共工事だけでなく、民間工事の受注も減少傾向に感じる。又、各仕入単価の上昇が毎月のように続いており収益を確保するのが厳しい状況である。【土木・建築の施工】
公共工事低入が無い文科省の場合競争激化が激化している。額札価格が低価格の度を越えている傾向がみられる事が懸念される。【管工事業・電気工事業・建築工事業】
工事の入札時期の遅れや、工事ストップなどで、売上が低下している。人材不足。コロナの影響は大きくはないが、人材が不足しているため、出勤停止になると、厳しい。【プラント運営他、高速道路の舗装、補修工事等の元請の1次下請け】
今期は受注増予定なので、人員や資材の手配に注意している。【事業所の改修】
材料の値が上がって、全体的に支出は増えているが、工事金額は上がらない状態が何年もきている。給与を増やすことは難しく感じる。【防水工】
材料の値上げが止まらない。【内装工事】
材料費、特に油に関係する材料仕入単価が上昇しています。【舗装・土木工事】
昨年より売上は多少増加しているが、借入金の返済が厳しい。【鉄道の建物、駅構内や沿線での電気設備、工場等の屋内配線工事】
仕入れ価格の上昇。【冷暖房設備工事】”
仕入単価、光熱費が経営を圧迫しています。【空調設備】
仕入単価の上昇。【緑地管理】
仕入単価上昇も事さることながら、合い見積りによる販売価格の低下。【サッシ建具・エクステリア工事】
受注の不安定。【工場・テナントの間仕切り工事】
受注は案件が多くなっており好調だが、収益率が低下している。【電気設備工事】
新規人材の確保が困難、事業拡大の障害となっている。【建築・土木工事業】
人員が確保できない。【測量、大工工事業】
先が見えない。【建設業】
相変わらず材料費・外注費が割高。【看板製作・設置／電気工事業】
単価の上昇。【建設業】
電力料金の値上げや諸経費の高騰で鉄筋材料の仕入れ額が上昇しています。4月の電力料金の上昇でさらに夏に向けて仕入額が上昇する見込みとなっています。労務費についても諸経費の高騰や賃金の上昇、作業員の不足で労務の仕入れ額も上昇しています。これらの仕入れ額をスムーズに転嫁できればいいのですが、施主との契約時期が早い為、転嫁がうまくできない物件が出てくる事が多くなるのではないかと思います。売上は単価が上昇するので上がりますが、収益率が落ちていくと思います。【鉄筋工事業、鉄筋材料販売、高強度鉄筋材料販売、圧接工事業】
同業他社が忙しいのか、減っているのか、引き合いが増えている感。元請けへの価格転嫁は、比較的しやすいがエンドユーザーの財布は固めと感じる。【管工事業】
燃料費高騰に端を発し、全ての物価が上昇傾向にあり、落ち着く気配が無い。【総合建設業およびこれに関連する業務】
売り上げ減少による採算性の悪化。【建物解体業】
売上額は上昇しているが、利益率低下、仕事量は増加傾向、施主、元請の予算不足により追加・増減工事等が認められず、原価の悪化。円安の影響で海外仕入の材料費増加、また経費を抑えるために在庫を多く抱えるため資金繰りの悪化。【クリーンルーム、居宅介護支援事業】
売上減少(客先業績不振に依る)。【移動体通信工事施工、保守】
利益率の低下。【建設業】

小売業・卸売業
◎食品の物価上昇に伴い、お客様の平均購入点数が減少しています。◎売上は前年比較では同水準ですが、コロナ禍以前と比べるとまだ回復とは言えない状況が続いています。◎水道光熱費(特に電気料金)の上昇が利益を大きく圧迫しています。【衣料品、住まいの品、食品、各種サービスの提供】
カナ pay 等の支援時は良いが、切れるとガタリ。最近はさらに進行している。現金がすぐに入らない。【釣具販売】
コロナ、物価高、インボイス、個人事業はほとんど、壊滅的な状況になると思う。【光触媒製品製造、販売】
コロナ禍での個人の物の買い方の変化。【衣類、化粧品、健康食品卸】
コロナ後、景気多少上昇するが、仕入価格アップ、消費者の購買動向が心配。【メガネ、コンタクト、補聴器販売】
コロナ等の補助金で凌いでいた外食産業が今期補助金の打ち切りにより経営が困難で閉店する店が増加傾向にある。【食肉卸売】
ハローワークにて求人するも応募0。【化粧品、エステ施術】
マスメディア等による消費者への負の影響。【薬局】
円安等に伴う仕入高の上昇により、収益の悪化が予測される。【小売業・卸売業】
販売価格への転嫁が思うようにいかない。【LPガス販売、生活用品販売、住宅等設備機器販売および工事】
海外の顧客先が日本製から他国の製品にシフトが定着しており、日本製との違いを感じにくくなっている。【中古建設機械輸出業】
絵画は高単価の作品が売れている。【美術品の売買】
客先である省庁では予算増大の方向にあり、案件も少しは増えると良いなど感じる。【省庁向け資材・器材の販売、インターネットショッピングモール内店舗運営】
景気の悪化に伴う売上・顧客数の減少。【乳製品・食材・水等の宅配】
原材料高騰が収まらない。【介護用食品の開発&販売】
原料不足による納期の長期化に加え価格の高騰も続いており、販売価格を上げざるを得ない。そのため、買い控えや安価な物に移行する傾向にあり、業績が伸び悩んでいる。また、無駄な経費が多い。【射出成形機、周辺機器、金型の卸売業や自動機の製造販売】
国内家電メーカーが価格等で中国韓国メーカーに負けている。【家電品の販売、照明 LED 化工事、防犯カメラ工事】
今期上半期(4月～9月)に関しては、前年比で消費低迷による売上不振が目立ったが、第3四半期(10月～12月)に関しては、仕入単価・小売単価の上昇にも関わらず、売上が堅調に推移した。【物産品販売】
昨今の半導体不足にて、車両の受注はあるのだが、入荷の見通しが立たず、売上の計上ができていない。今後は顧客からのキャンセルや受注減少も見込まれる。【自動車(新車・中古車)の販売・修理・点検・整備】
昨年末の需要期は、コロナの行動制限解除で、前年より好転しました。引き続き、年度末需要に期待していますが、食料品とエネルギー価格の高騰が、消費者マインドに負の影響を及ぼすことが懸念されます。【米菓製造販売】
仕入れ価格の上昇の為、商品の値上げは続いています。消費者の商品マインドは確実に落ちてきています。諸経費の上昇の為、資金繰りは悪化しそうです。【喫煙具販売】
仕入価格の上昇が著しい、燃料費・光熱費の上昇も影響が有る。顧客の予算増加が見込めない為、購入額に影響が出始めている。【文具・事務用品・OA 機器・什器】
仕入単価については、一部は落ち着いてきたものの、モーター関係は年末にかけてまた上昇するという打診も来ている。【空気圧機器卸売業(一部製造)】
仕入単価の上昇。【靴】
事業内容を模索中。【健康事業】
自治体の納入制度の変更(随意契約から入札制度へ)。【生鮮青果物卸売】

従業員の数を何処まで増やすのか？新卒の社員が長期で働いてくれるのか？【伝動機器販売】
消費の2極化、原材料高騰により仕入単価の上昇、エネルギーコストの上昇。【青果等必需品を取り扱う総合小売業】
新時代に向けて、期待感。【たばこ、酒、飲料、くじ】
先行き不透明感、長期金利の上昇などから設備投資意欲の低下、消耗品の買い控え&従来価格の見直し。【販売品目 機械工具、ボルトナット、伝導機器、空圧機器、測定機器、MRO商材など】
前期は売上げ利益共に良い結果を出せたが、新車納期が延びていることから、中古発生が減っており商品の仕入れが困難なことから、販売先である東南アジアからの注文が減ってきていることから、売上げの減少が予測される。【中古車、中古建設機械買取販売、輸出】
相模原ペイは売上にプラスになった。【スポーツ用品】
天候不順による農作物の安定供給がむずかしい。【青果物】
電気代上昇。【食品、酒、タバコ】
不況な感じ。【輸入鶏肉加工品】
物価上昇。【ドラッグストア・調剤薬局】
物価上昇に便乗して機器・部材の仕入れ金額が増加しているが、販売金額が上がらない為、収益が下がっている傾向にある。【業務用厨房機器】
包装資材、原料等の顕著な値上げにより、収益率の低下が予想される。【健康食品(玉ねぎ皮茶など)】
老人世帯が多く、販売先の減少がたくさんありました。【LPガス、灯油、販売、リフォーム】
飲食業・サービス業
・総務の採用困難・教員の採用困難。【教育、市立小学校、プリスクール、英会話経営】
高齢化による社会不安。【行政書士業】
受発注の状況。【貿易代行業】
インフレにより仕入れ価格の高騰、世の中の生活品の全般的な値上げ、増税、により経済悪化の懸念をしています。【カーコーティング、カーフィルム、板金塗装】
インフレ手当は支給できないが、福利厚生制度を少しでも整備・充実させていきたい。【設計受託・請負業務・労働者派遣事業・求職者支援訓練事業】
インボイスの今後の影響が読めない。【飲食業・サービス業】
エネルギー問題。【飲食業・サービス業】
お客様に価値のある物をしっかり提供すれば景気は関係ない。【鍼灸院】
コロナ、円安、戦争、物価上昇に於いて原価材料費の全ての高騰により日々不安定、販売価格を上げててもきりが無い。一般社会の賃金の上昇がみられない限り、個人消費の低迷は避けられない。生活の優先順位がある為、非常に経営そのもののお見通しが立たない。一刻も早く、落ち着いて欲しい。【墓石清掃、墓参代行、墓石クリーニング、墓石コーティング、墓石メンテナンス、石材特殊清掃、埋葬】
コロナ、戦争、災害の影響。【ポンプ、送風機、モートル修繕、販売】
コロナウイルスが5類になれば、好転の可能性も。【鍼灸マッサージ業】
コロナが安定し、事業者も経済的に良い方向に進むと私等の事業への注文が入るかも。それを願っています。【厚労省主管の人事労務(社員教育、社員の労働安全衛生等)について事業所幹部に教育する】
コロナによってズタズタにされたところに物価高による仕入れ価格の上昇と賃金の上昇で、本当に苦しい。【海外引越業】
コロナの影響が大分落ち着いてきた。【加工食品、酒類、雑貨 その他の入出荷管理】
コロナの影響で旅行需要が戻ってこないため以前のようなバスの運行計画では予測ができなくなっている。【旅客自動車運送事業】
コロナの影響もあり、顧客が迷っているように思う。【観葉植物レンタル業】
コロナ禍で店が悪のような自粛などもあり、お客様の足が遠くなり、会社等でもまだまだ会食が厳しい様子。

コロナ禍が明けたかのような報道が多いが、物価高や光熱費高騰により消費が低迷している。職業柄知り得る情報ではあるが、個々の企業、個人事業主において資金繰りがうまくいっていない状況。【中小企業経営コンサルティング業、生命保険代理店、損害保険代理店】
コロナ期に定期メンテナンスを中止していた客が再開するかどうか。【ピアノの調律、小物販売、中古ピアノ販売】
サービス業に改善のきざしあり、良い方向に向きそうです。【HP制作、システム製作等】
ドライバーの高齢化。【建築資材】
なし。【ペットボトル及び容器包装プラスチックの中間処理】
ニーズはあっても、先行投資は慎重。【ソフトウェア、ハードウェアの開発委託、ネットワークの維持管理】
まだまだコロナの悪影響が続いており、受注金額が低迷。【スポーツクラブの運営】
メーカーからの納期遅れの為、売上減少、部品単価上昇の為、売上不振。【エアーコンプレッサーの販売、修理、メンテナンス業】
案件はあるが、それにマッチした人員の不足。【飲食業・サービス業】
案件は増えているが、スキルを持った従業員が不足している。【ソフトウェア開発】
為替の高止まりにより、需要はあるものの、適正価格の商品供給が行えない。【旅行業】
営業の応募がほとんどない(特に若い世代)。【損害保険、生命保険代理店】
各種商品の値上げ。【電気保安管理サービス・電力コンサルティング】
各種税金や保険額が高く苦勞した。物価高続くアルバイト時給アップはもう勘弁して欲しい。【レストラン】
各地域での催し物がコロナ等の影響で中止が多く悩んでおります。【煙火打上業】
技術者の高齢化。【理容業】
客先の設備投資控えによる受注減少。【建築設計・監理】
客足は戻ってきた。客単価もそこそこ良い。団体の宴会がまだ戻らないのでコロナ前よりも利益率があがらない。【和食全般の提供】
去年から続く物価高騰がまだ引き続き、1月に入ってもさらなる値上げラッシュで春にもまた仕入れの値上げになるそうで心配です。仕入れ単価あどどんと上がって、それに伴い、販売価格の変更、値上げしています。【居酒屋】
競合他社の増加。【学習塾】
業種柄、売上は安定しているが、収益性は無策な最賃引き上げにより更に落ちている。【飲食業・サービス業】
顧客へ契約金改定は困難を極め今後無謀な最賃改定が進めば立ち行かなくなる。【ビルメンテナンス、清掃・警備・設備保守】
金額設定に自信を持っているので高めにしているが、難しい。しかし、変えない。【飲食業・サービス業】
令和4年度下期に仕入れた物件だけが令和5年2月、3月、4月販売が完了の見通し。従業員がいない為、私自身ベースアップしない。【飲食業・サービス業】
金利上昇の懸念で仕入単価の上昇し収益率の低下につながることの心配有。【不動産取引総合会社】
景気に左右されない景気増があります。(燃料、高速代、人権費)。【飲料】
景気に左右されやすい業種なので家計の削減に最も影響されやすく、コロナによる長期の外出規制の為「この際にやめてしまおう」という考え方が広まりつつある。白髪染め、パーマ等が削減しているのを感じる。来店周期も伸びている。【美容室】
景気の悪化。【運送業】
景気は悪化しているが、事業拡大を目指し経験者社員の雇用を増やしている。人件費が増える分、売上も上がるが利益が増えるかどうか不安はある。【介護、福祉、医療】
景気は直接左右されないので特にはないです。【障害通所施設(福祉業)お持ち知的障害をお持ちの方の生活支援】
景気悪化とともに個人消費が低迷し受理減につながる。【シロアリ消毒、ネズミ駆除、害虫駆除】

景気感については、新規コロナウイルスのマイナスの影響が改善し、コロナ前の状況に近づいている。【飲食業・サービス業】
景気不安。【プレス機械の点検、修理、販売等】
経験者の求人応募が思うように来ない。【システム開発全般】
経済が早期安定することを望みます。賃上げ推奨されることで、賃金維持は悪のような風評が出回っているため雇用維持が難しくなっています。【保育事業】
経費がけっこうかかっている為、見直ししないといけない。【全体の施術】
月間残業60時間問題の前に従業員不足をなんとかしたい。【運送】
原価の上昇に対し値上げができない。【ビルメンテナンス】
原材料価格高騰による不況感と諸経費の増加。【中小企業金融】
個人消費がR4. 10月頃より悪化している。【売買、仲介】
個人消費の低迷。【理容業】
維持費が円安のせいでアップしており、新規土地取得の土地代の低迷があり、都心やその周辺のビルが外国人(主に中国人)による購入が増えています。【不動産コンサル、不動産仲介業】
雇用経費が上昇して、従業員が不足。【納品代行を含む梱包業務請負】
雇用状況。【訪問看護】
雇用不足。【司法書士】
雇用不足が継続。【税理士業】
顧客となる企業が減少するものと思う。不況のため。【社会保険労務士業】
顧客の資金繰り悪化。【税理士業】
光熱費の上昇。【レンタカー事業】
光熱費の上昇が、深刻。【動物病院】
此の不景気が何時迄続くのか不安です。【飲食業・サービス業】
今までと変わらずだが、少しずつ、営業が上向き、契約に結び付く感じはある。【不動産仲介、不動産企画、建築設計】
仕入、材料の値上り。【飲食業・サービス業】
仕入コスト、水道光熱費、最低賃金の上昇。【クリーニング業】
仕入の値段があがり、販売価格を上げたくてもそう簡単には上げられず、なやむことがある。【コーヒーの移動販売】
仕入価格の上昇。【飲食業】
仕入単価、及び諸物価の高騰に依る経営不振。【ダスキン商品全般】
仕入単価が上昇しており中古車と新車の差がなくなっている。【フォークリフト販売整備】
仕入単価が上昇しても販売単価が上がらない、輸出がとても少ない。精密機械の梱包が少ない。【こん包業】
仕入単価の上昇。【観葉植物レンタル】
仕入単価の上昇、電気、エネルギー全て上昇。【修理】
仕入単価の上昇に伴う値上げ。【美容室】
仕入値の上昇。【飲食店】
仕入物価の上昇の上に公共料金、増税が重なった故、目下の所 W パンチの痛手であるが、さりとて近くに大型店もありチェーン店の様にたやすく値上げ出来ないのが個人店の悩みどころである。だけれど家族と身内営業だった為、従業員してくれている人に甘えていた部分があったと反省。納税も大事だがまずは働いてくれている人たちの生活を守ってやりたいので今年は賃上げする事としました。【中国料理・飲み物】
資機材単価の上昇が激しく、老朽化した。機械を手直ししながら使っている。値上げの要請に対し答えが出てくるのが遅い為、現状が続くと作業に支障をきたす様になってくる。【高圧洗浄作業】
自動車業界の販売不振。【機械設計】
受注はあるが人出不足で対応できない。【製造業人材派遣業、構内請負業】
従業員の不足。【行政書士、社会保険労務士】

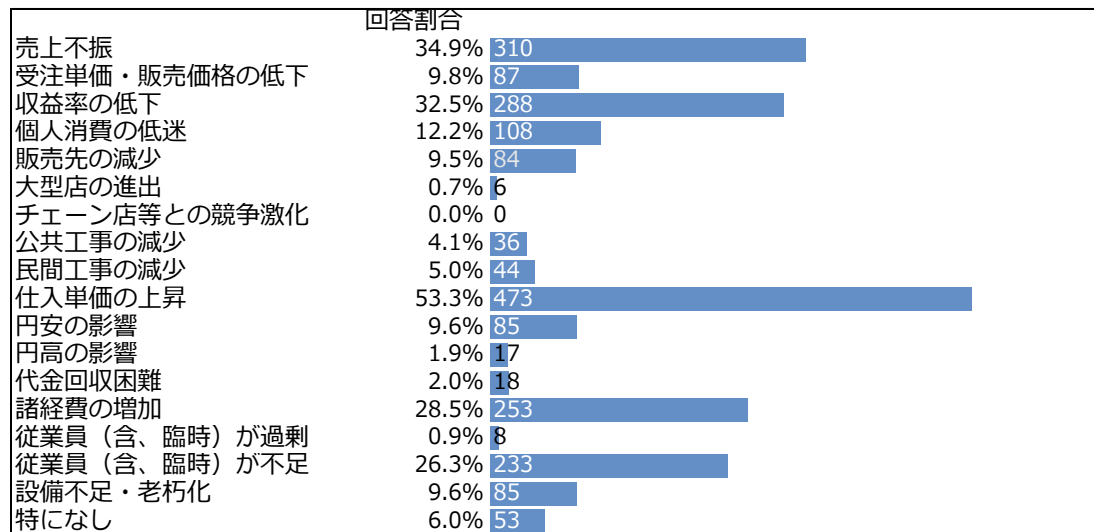
商店街スーパー閉店(12/4、12月末)と地域内カラオケ店移転による。【からあげ、やきとり専門店】
小売業の業績の悪化。【飲食業・サービス業】
少しずつ人は増えているが、まだコロナ以前には戻っていない。【鍼灸院、接骨院】
少子高齢化社会。【宅地分譲企画販売、土地建物売買仲介、賃貸物件管理・仲介、駐車場管理、内閣府認可、企業主導型子育て家運営】
消費者動向の不透明さ。【宅地造成企画販売、売買仲介、賃貸物件管理仲介】
食材費、ガス、電気代の高騰による、利益の低下。【福祉】
新しい価値の創造。【総合不動産サービス事業、ビジネスサービス事業、フードサービス事業、物販サービス事業、健康サポート事業、介護サービス事業、トラベルサービス事業、子育て支援サービス事業、リゾートサービス事業、人材派遣サービス事業】
新規患者獲得数減少、既存患者来院数減少。【鍼灸院】
新規顧客が増え始めた気がいたします。【社会保険労務士業】
新型コロナの影響で助成金etcの支援を受けた。【在宅医療を中心とした医療の提供】
人件費(社保含む)の増大。【税理士】
人材の恒例化に依る、突発的病欠者が多くなっている、臨時的に人工不足が生じる。今後の課題。【ビルメンテナンス業】
人材不足。【税務書類作成】
人手不足。【自動車整備】
世界の平和と消費行動。景気の動向。【廃棄物】
世界経済の減速懸念。【人材派遣】
生活物価の上昇による所得減少、金利先高観からくる買い控えが顕著になり始めてきた。【不動産買取再販・仲介・管理】
先行き不透明。【不動産売買仲介】
相変わらず人手不足感は続いている。また、半導体の影響に代表されるように、車両・設備などが必要な時に必要な量が調達しにくい状況が改善されない。【再生資源卸売、廃棄物処理】
装置産業においては、電気部品、配線部品、制御機器の不足・長納期化がこの1年継続で、採算回復のネックになっている。【プレス機械関係自動化・システム化、並びに品質および環境マネジメントシステム支援】
体を使わず、楽な仕事を考える方が多い。【小包の配送】
対象母体数の変化に伴い、顧客人数の減少が見込まれてきている。【学習塾運営】
値上げラッシュで、生活は大変、事業も、相手先の景気が悪いので、コロナとウクライナ戦争の影響大。【鋳造解析シュミレーション・ソフトの製造・販売】
中小企業の景気観は全般的に回復されていない。材料の高騰と今回の大企業による値上げで、販売価格の値上げ交渉がより厳しくなるものと思われる。【輸出梱包、梱包用木箱の販売、木製パレットの販売】
中小企業は生産性が低いと言われることへの葛藤。【賃貸不動産の管理業務。不動産の売買仲介業務】
電気、ガス、水道、ガソリン等の値上げ、仕入材の値上げがいつまで続くのかが不明。【酒、刺身、揚げ物、煮物他】
電気料金ほか物価高騰により顧客の業界が悪化している。【金融機関】
電気料金等諸物価の値上りで収益が悪化。【不動産賃貸業】
入札に関し、圏外本社が市内にダミー形態の事務所を有す企業が極端な低単価で参入すると、適正価格での応札が難しく、収益の安定が図れない。指名入札→一般入札に変更した事も影響大である。【ビル清掃設備管理業】
燃料高騰、個人消費の低迷。【一般乗用旅客自動車運送事業】
燃料費高騰、障がい者雇用採用、ドライバー求人問題。【廃棄物処理業】
買い控え。【学習塾】
売り上げは変わらないのに全ての費用が高騰している。【飲食業・サービス業】

燃料、オイル、タイヤ【自動車部品】”
売上が伸びていないので賃上げが難しく、人手不足が解消しないので更に売上が伸びない。【社会福祉、障害者の就労支援等】
売上増について見込みが立たない状態。【格闘技教室、フィットネス】
半導体関連、再生エネルギー関連の今後の動きに注視したい。【制御系画像処理、AI、再生エネルギー、航空宇宙、ロボット】
販促物(シャンプー、トリートメント、化粧水等)買わなくなる。【美容業】
不動産及び建築資材等の上昇なる。消費者の購買意欲が落ちると思われる。【宅地分譲、土地建物仲介、売買賃貸管理他】
物価ばかり上がり、収入が上がらない、上げられない。【生損保代理業】
物価高による消費の低迷が、新型コロナウイルス感染症からの回復に向かう経済活動に影響を及ぼさないか心配している。【不動産賃貸業】
物価高による様々な影響。【中学入試専門塾】
物価上昇。【生ジュース、調理販売】
物価上昇しているが、契約単価は据置状態である。【経営コンサルタント事業】
物価上昇に見合った売上単価の上昇を考慮して単価を決定する。【自家用電気工作物保安業務受託】
補助金をあてにできない。【情報通信サポート】
報道等で周知されているため、半導体不足による納期の長期化や、原材料費高騰に伴う価格の上昇をある程度はお客様も理解していただいており、交渉自体はやりやすいですが、やはり商機を逃すことが増えました。【ビルメンテナンス業、空調機メンテナンス、給排水衛生設備点検・工事、受水槽清掃、電気工事】
訪問介護の実態として①ヘルパーの不足 ②利用者の使用頻度の高い方はその時は売り上げに大きく貢献されますが、頻度の高い方は入院、施設入所、死亡等の危険が多く売り上げの減少に結び付いています。ここのところ、上記の状況が多発して、新規の取り込みに苦慮しています。【訪問介護業】
忙しい会社もあればそうでない会社もあり、今後もこの状況が変わらなさそうなので淘汰時代の幕開けと考えています。【産業機械の設計製図サービス】
本年1月～2月は取引先製造業が元気がなく、減産気味である。円高の影響が少し出ているようです。【産業廃棄物(汚泥)リサイクル、非鉄金属精錬原料販売】
夜の動きがニブイ。物価高騰。【ラーメン店】
夜の動きがまったくみえない。【寿司屋】
輸入品、国産品共に価格上昇が以前続いております。物価上昇によりお客様に対し客単価をあげることが難しく収益に影響が出てきています。【フランス料理のランチ、ディナー】
優秀な人材の不足、育成時間の不足、賃金の増加など政策によってのアンバランス。

経営上の問題点

単純集計

経営上の問題点(3つまで回答可、n=887)



製造業

今回調査を見ると、「諸経費の増加」「従業員が不足」が増加し、「円安の影響」が減少している。前期まで続いた円安がひと段落した一方で、電気代などの高騰や人材不足は深刻化しているようである。

	R4年1～3月 n=214	R4年4～6月 n=229	R4年7～9月 n=180	R4年10～12月 n=240	今回調査 n=243
売上不振	46.7%	43.2%	36.7%	42.9%	41.6%
受注単価・販売価格の低下	13.1%	11.4%	13.3%	12.5%	13.2%
収益率の低下	35.5%	38.4%	37.8%	38.3%	38.7%
個人消費の低迷	4.2%	2.6%	1.7%	2.1%	2.9%
販売先の減少	6.5%	8.3%	8.3%	7.9%	10.3%
大型店の進出	0.0%	0.4%	0.0%	0.4%	0.0%
チェーン店等との競争激化	0.5%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%
公共工事の減少	0.5%	0.9%	0.0%	1.3%	1.6%
民間工事の減少	0.9%	2.6%	1.7%	1.7%	2.9%
仕入単価の上昇	65.0%	70.7%	70.6%	67.5%	65.0%
円安の影響	5.1%	18.8%	15.6%	23.8%	10.7%
円高の影響	1.4%	2.6%	1.7%	2.5%	1.2%
代金回収困難	0.9%	0.4%	0.0%	0.0%	0.4%
諸経費の増加	19.6%	21.4%	21.7%	23.8%	29.2%
従業員(含、臨時)が過剰	1.4%	2.2%	0.0%	0.0%	1.2%
従業員(含、臨時)が不足	21.0%	17.5%	17.2%	16.3%	23.0%
設備不足・老朽化	15.9%	11.4%	15.6%	14.2%	12.3%
特になし	2.3%	1.7%	2.2%	3.3%	2.9%

経営上の問題点(業種別)

建設業

前期と比較して、「収益性の低下」、「受注単価・販売価格の低下」、「仕入れ単価の上昇」、「公共工事の減少」、「民間工事の減少」が増加、「売上不振」、「諸経費の増加」、「設備不足・老朽化」が減少した。売上はあまり伸びない中で支出が増加し収益性が厳しくなっているようである。

	R4年1～3月 n=144	R4年4～7月 n=147	R4年7～9月 n=124	R4年10～12月 n=188	今回調査 n=141
売上不振	31.3%	21.8%	28.2%	34.0%	21.3%
受注単価・販売価格の低下	17.4%	21.8%	20.2%	7.4%	14.2%
収益率の低下	34.0%	40.1%	39.5%	21.3%	34.8%
個人消費の低迷	5.6%	6.1%	5.6%	8.0%	9.2%
販売先の減少	4.2%	5.4%	6.5%	5.9%	4.3%
大型店の進出	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
チェーン店等との競争激化	0.7%	0.7%	0.8%	0.5%	0.0%
公共工事の減少	20.8%	15.6%	9.7%	5.3%	14.9%
民間工事の減少	22.2%	21.1%	17.7%	4.3%	17.7%
仕入単価の上昇	53.5%	66.7%	68.5%	24.5%	63.8%
円安の影響	2.8%	6.1%	4.8%	5.9%	5.7%
円高の影響	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	2.8%
代金回収困難	1.4%	0.0%	0.0%	3.7%	2.8%
諸経費の増加	15.3%	15.6%	16.9%	28.7%	23.4%
従業員（含、臨時）が過剰	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	0.0%
従業員（含、臨時）が不足	30.6%	29.3%	25.0%	30.9%	31.2%
設備不足・老朽化	5.6%	3.4%	2.4%	10.6%	2.8%
特になし	3.5%	0.7%	4.8%	12.2%	5.0%

小売業・卸売業

「売上不振」、「個人消費の低迷」、「販売先の減少」、「円安の影響」、「諸経費の増加」などが増加し、「受注単価・販売単価の低下」、「従業員が不足」が減少している。昨年末に景況が回復し、ものがいったん落ち着いた形である。

	R4年1～3月 n=129	R4年4～6月 n=144	R4年7～9月 n=92	R4年10～12月 n=166	今回調査 n=117
売上不振	47.3%	49.3%	34.8%	22.9%	41.0%
受注単価・販売価格の低下	8.5%	5.6%	6.5%	13.3%	6.0%
収益率の低下	38.0%	32.6%	39.1%	26.5%	26.5%
個人消費の低迷	34.9%	29.2%	29.3%	4.8%	23.9%
販売先の減少	17.8%	16.7%	10.9%	6.0%	16.2%
大型店の進出	3.9%	2.8%	3.3%	0.0%	2.6%
チェーン店等との競争激化	8.5%	9.0%	0.0%	0.0%	0.0%
公共工事の減少	0.8%	0.7%	3.3%	8.4%	1.7%
民間工事の減少	0.0%	3.5%	0.0%	16.3%	2.6%
仕入単価の上昇	49.6%	54.2%	64.1%	50.6%	57.3%
円安の影響	6.2%	11.8%	20.7%	6.0%	16.2%
円高の影響	0.0%	3.5%	0.0%	1.2%	6.0%
代金回収困難	1.6%	0.7%	2.2%	1.8%	3.4%
諸経費の増加	16.3%	13.9%	26.1%	15.7%	27.4%
従業員（含、臨時）が過剰	0.0%	0.7%	0.0%	1.2%	0.9%
従業員（含、臨時）が不足	12.4%	13.2%	8.7%	17.5%	14.5%
設備不足・老朽化	12.4%	6.3%	8.7%	1.8%	6.8%
特になし	3.1%	3.5%	2.2%	3.0%	4.3%

経営上の問題点(業種別)

飲食業・サービス業

増加した指標はあまりなく、「売上不振」「収益率の低下」「個人消費の低迷」、「仕入れ単価の上昇」「円安の影響」が減少した。いずれも前期増加したものが元の傾向に戻った形であり、業況は改善傾向にある。

	R3年10～12月 n=418	R4年1～3月 n=353	R4年4～6月 n=290	R4年7～9月 n=408	今回調査 n=386
売上不振	42.8%	37.4%	33.8%	35.9%	33.9%
受注単価・販売価格の低下	7.1%	5.8%	7.6%	6.6%	7.3%
収益率の低下	29.7%	25.7%	28.6%	32.3%	29.5%
個人消費の低迷	19.3%	21.5%	17.9%	24.0%	15.5%
販売先の減少	12.7%	8.6%	7.6%	10.5%	8.8%
大型店の進出	0.6%	1.0%	1.4%	2.4%	0.8%
チェーン店等との競争激化	2.5%	2.1%	0.3%	1.7%	0.0%
公共工事の減少	2.0%	1.8%	2.8%	5.4%	2.3%
民間工事の減少	2.5%	3.4%	1.4%	3.2%	2.3%
仕入れ単価の上昇	26.3%	33.0%	35.2%	51.8%	40.9%
円安の影響	1.1%	9.2%	10.0%	15.2%	8.3%
円高の影響	0.3%	1.8%	1.0%	1.2%	0.8%
代金回収困難	1.4%	1.6%	1.4%	0.5%	2.3%
諸経費の増加	25.5%	22.3%	26.9%	26.7%	30.3%
従業員（含、臨時）が過剰	2.0%	1.6%	1.0%	0.7%	1.0%
従業員（含、臨時）が不足	23.5%	25.9%	24.5%	22.7%	30.1%
設備不足・老朽化	12.2%	12.0%	11.7%	10.3%	11.1%
特になし	8.8%	10.2%	10.0%	3.7%	8.8%